



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 奥田朋近

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	54,571	△7.5	648	△56.2	△435	—	△872	—
28年3月期第2四半期	58,995	6.1	1,479	△31.0	1,510	△28.5	964	△37.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △3,036百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 893百万円 (167.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△42.55	—
28年3月期第2四半期	47.07	46.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	74,924	42,493	56.2	2,055.18
28年3月期	86,311	45,881	52.7	2,217.74

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 42,130百万円 28年3月期 45,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,500	△9.7	2,300	△28.2	1,100	△60.0	210	△76.2	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	21,046,785 株	28年3月期	21,046,785 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	546,947 株	28年3月期	546,947 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	20,499,838 株	28年3月期2Q	20,499,814 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により雇用情勢に改善が見られるものの、円高の進行や個人消費の伸び悩みなどにより、景気は足踏み状態が続いております。海外においては、米国景気は堅調に推移したものの、中国では過剰投資の調整に伴う景気の減速傾向が見られ、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、国内においては軽自動車の販売台数の減少が続き、海外においては北米や中国で底堅く推移し、インドなどの新興国においては市場の回復傾向が見られました。

このような経営環境の中で当社グループは、2020年までの中長期経営計画「Dream 2020」のフェーズ2の二年目を迎え、重要展開方針として「技術革新」、「国内事業の再構築」、「グローバル拠点最適化」、「人材育成」の4つを掲げ、更なる経営体質の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は54,571百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は648百万円（前年同期比56.2%減）となりましたが、円高の進行により為替差損1,092百万円を営業外費用に計上したことから、経常損失は435百万円（前年同期は1,510百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は872百万円（前年同期は964百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、国内の生産減少や為替の影響などにより、売上高は52,747百万円（前年同期比7.5%減）となり、営業利益は730百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連、工作機械関連ともに受注が減少したことにより、売上高は1,301百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失は83百万円（前年同期は90百万円の損失）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

無動力の歩行支援機などの受注が減少したことにより、売上高は522百万円（前年同期比3.9%減）、営業損失は3百万円（前年同期は8百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第2四半期末における総資産は、74,924百万円（前期末比11,386百万円の減少）となりました。流動資産は、現金及び預金の減少（4,380百万円）や受取手形及び売掛金の減少（3,379百万円）などにより44,561百万円（前期末比7,991百万円の減少）、固定資産は、有形固定資産の減少（2,976百万円）などにより30,363百万円（前期末比3,395百万円の減少）となりました。

(ロ) 負債

当第2四半期末における負債は、32,431百万円（前期末比7,999百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少（885百万円）や短期借入金の減少（1,751百万円）などにより24,537百万円（前期末比4,443百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（958百万円）などにより7,893百万円（前期末比3,555百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期末における純資産は、為替換算調整勘定の減少（2,134百万円）などにより42,493百万円（前期末比3,387百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、1,586百万円（前年同期比46.1%減）、投資活動に使用した資金は、1,811百万円（前年同期比29.7%減）、財務活動の結果減少した資金は、3,087百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は7,914百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,586百万円の増加となりました。これは主として、減価償却費が2,747百万円であったものの、法人税等の支払額が1,462百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,811百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,921百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,087百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金が1,192百万円純減したこと、長期借入金の返済による支出が1,005百万円、リース債務の返済による支出が538百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成28年11月2日に公表しました「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」に記載しましたとおり、平成28年5月12日に公表しました予想から修正しております。

詳細は平成28年11月2日に公表しております、「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,837	8,457
受取手形及び売掛金	20,512	17,132
電子記録債権	5,721	5,845
たな卸資産	10,467	9,955
その他	3,472	3,573
貸倒引当金	△458	△402
流動資産合計	52,553	44,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,579	7,820
機械装置及び運搬具(純額)	8,616	7,473
その他(純額)	10,466	9,392
有形固定資産合計	27,662	24,685
無形固定資産		
その他	1,059	888
無形固定資産合計	1,059	888
投資その他の資産		
投資有価証券	4,379	4,246
その他	718	613
貸倒引当金	△61	△70
投資その他の資産合計	5,036	4,789
固定資産合計	33,758	30,363
資産合計	86,311	74,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,554	7,668
電子記録債務	6,122	6,103
1年内償還予定の社債	—	327
短期借入金	5,027	3,275
未払法人税等	1,293	185
賞与引当金	1,259	1,281
製品保証引当金	115	106
その他	6,608	5,589
流動負債合計	28,981	24,537
固定負債		
社債	327	—
長期借入金	3,600	2,641
退職給付に係る負債	2,669	2,653
その他	4,851	2,598
固定負債合計	11,449	7,893
負債合計	40,430	32,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,134	6,134
資本剰余金	5,867	5,867
利益剰余金	30,203	29,023
自己株式	△441	△441
株主資本合計	41,764	40,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	1,509
為替換算調整勘定	2,436	301
退職給付に係る調整累計額	△294	△265
その他の包括利益累計額合計	3,698	1,546
非支配株主持分	417	362
純資産合計	45,881	42,493
負債純資産合計	86,311	74,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	58,995	54,571
売上原価	52,835	49,242
売上総利益	6,159	5,329
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,439	1,433
給料手当及び賞与	1,231	1,155
賞与引当金繰入額	187	189
退職給付費用	32	45
減価償却費	210	206
その他	1,579	1,651
販売費及び一般管理費合計	4,680	4,681
営業利益	1,479	648
営業外収益		
受取利息	106	63
受取配当金	63	58
その他	130	75
営業外収益合計	300	197
営業外費用		
支払利息	192	165
為替差損	31	1,092
その他	46	23
営業外費用合計	269	1,281
経常利益又は経常損失(△)	1,510	△435
特別利益		
固定資産売却益	22	2
特別利益合計	22	2
特別損失		
固定資産処分損	39	22
投資有価証券評価損	—	93
特別損失合計	39	116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,494	△548
法人税、住民税及び事業税	551	435
法人税等調整額	△42	△142
法人税等合計	508	293
四半期純利益又は四半期純損失(△)	985	△841
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	30
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	964	△872

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	985	△841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281	△46
為替換算調整勘定	221	△2,176
退職給付に係る調整額	△31	28
その他の包括利益合計	△91	△2,194
四半期包括利益	893	△3,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858	△3,024
非支配株主に係る四半期包括利益	35	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,494	△548
減価償却費	2,970	2,747
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	22
受取利息及び受取配当金	△170	△121
支払利息	192	165
固定資産処分損益(△は益)	16	20
投資有価証券評価損益(△は益)	-	93
売上債権の増減額(△は増加)	△1,856	856
たな卸資産の増減額(△は増加)	159	△627
仕入債務の増減額(△は減少)	469	912
その他	513	△421
小計	3,787	3,097
利息及び配当金の受取額	166	117
利息の支払額	△192	△165
法人税等の支払額	△815	△1,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,945	1,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	117	74
有形固定資産の取得による支出	△2,700	△1,921
投資有価証券の取得による支出	△27	△27
その他	32	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,577	△1,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,499	△1,192
長期借入れによる収入	390	-
長期借入金の返済による支出	△1,439	△1,005
リース債務の返済による支出	△641	△538
配当金の支払額	△286	△307
その他	△53	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,531	△3,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	△903
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,929	△4,216
現金及び現金同等物の期首残高	13,473	12,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,544	7,914

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	57,000	1,451	543	58,995	—	58,995
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	2	11	△11	—
計	57,000	1,460	545	59,006	△11	58,995
セグメント利益又は損失(△)	1,556	△90	8	1,473	5	1,479

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	52,747	1,301	522	54,571	—	54,571
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11	0	12	△12	—
計	52,747	1,313	523	54,584	△12	54,571
セグメント利益又は損失(△)	730	△83	△3	643	5	648

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。